

神奈川民医連から1名派遣

みなみ医療生協 秋田専務が広島 坂町へ支援に入りました。



広島駅から電車とマイクロバスを乗り継いで目的地の坂町・ボランティアセンターへ向かう途中には、流れ込んできた土砂によって埋まった線路や山の中腹を通る道路が削り落とされてガードレールだけぶら下がる光景がありました。作業現場では土砂に埋まった自転車を掘り出そうと数人がかりで作業しても掘るたびに土砂に埋まった枝や鉢などにスコップが当たり中断され、最後までやっても半分出すのがやっとで、思った以上に作業が進まないことを身をもって痛感しました。ボランティアの注意事項は炎天下の作業なので10分作業したら10分休憩を必ず取る、水分は最低でも2リットル以上持つ、具合が悪く感じたら必ず申し出るなど厳しいルールがあり、守ったとしても熱中症で倒れる支援者が多くいます。人手が足りないと言う声を多く聞きました。作業現場だった民家の方から、涙を流して感謝され、まだまだ見通しなんてもてないのに「おかげで見通しが持てました」と言われ、義援金や物資とあわせて、人的支援も一人でも多く参加していく必要があると感じています。

みなみ医療生協 秋田 直樹

広島・坂町への支援8月末まで！！

広島民医連への支援は、全国から92名（7/14～16）の方が支援に入りました。まだまだ支援が必要です。

◆支援要請内容

- ・広島県坂町の社会福祉協議会
- ・災害ボランティアセンターへの支援

◆追加された支援日程

- ・8月中の水、木、土、日曜日（お盆除く）
- * 支援者は職員のみ、職員が同行する家族、共同組織会員に拡大

8月	水曜	木曜	土曜	日曜
1週目	1日	2日	4日	5日
2週目	8日	9日	11日	12日
3週目	/		18日	19日
4週目	22日	23日	25日	26日
5週目	29日	30日		



◆支援の申請と具体的支援支持の流れ

- 全日本民医連対策本部に「支援申請書」を必ず提出して下さい。

提出先mail: yo1unteer@min-iren.gr.jp

- 全日本民医連対策本部より受付の確認をし、各県連・事業所へ連絡をします。
バスの定員は50名で締め切ります。

◆支援の交通手段、費用負担等、注意事項

交通手段、費用などについては「西日本豪雨災害復旧に向けて全国へのお願い」(7/11)付 広島民医連)並びに「別紙(7/18修正版)」「集合場所地図」をご確認下さい